



1年10ヵ月ぶりに
再開します！

第25回 ランチタイムコンサート

～ クリスマスを待ち望み ～

★YouTubeによるオンライン配信（事前収録）

2021年**11月28日(日)**から

当教会のホームページ、または右のQRコードの
リンクから、いつでも、どなたでも視聴できます。



配信日前からコンサートの
情報をご覧になれます

※教会内への入場はありません（配信のみ）

<予定曲目>

- ・ いざ来ませ、異邦人の救い主よ（F. W. ツァッハウ）
- ・ ガブリエルのメッセージ（N. ロースゾン）
- ・ パストラーレ（C. ウェスレー）
- ・ 目覚めよ、と呼ぶ声あり（M. レーガー） ほか

**オルガン
西村 真紀**

国立音楽大学作曲学科卒業。
白川・イタリアオルガン音楽アカ
デミーにてピストイア賞、白川賞、
ゲラルデスキ賞を受賞。日本聖公
会聖アンデレ教会オルガニスト。



東京聖三一教会

ランチタイムコンサートのご案内

新型コロナウイルス感染拡大のリスクを避けるため、2020年1月を最後に休止しておりましたランチタイムコンサートを、オンラインでの配信のみ、という形ではありますが再開することとなりました。

11月28日（日）から、当教会のYouTubeチャンネルにて配信を開始します。

★配信の視聴はこちらをクリック！↓↓

♪ [第25回 東京聖三一教会ランチタイムコンサート](#) ♪



第25回 ランチタイムコンサート

～ クリスマスを待ち望み ～

再開後最初の演奏は、2020年3月演奏のご予定がコロナ禍により中止となってしまった西村真紀さんをお願いしました。

オルガン 西村 真紀さん



クリスマスを迎えるにあたり、祈りと共に聴いていただきたい曲、そして、未だに続く世界的パンデミックが早く落ち着き、人々が安心して生活出来るよう、祈りの気持ちを込めた聖歌527番を入れました

※日本聖公会聖歌集第527番「傷ついた人の祈りにこたえて」は、スコットランド民謡の心温まる旋律にのせて全世界の癒しを願う聖歌です。

<プロフィール>

国立音楽大学作曲学科卒業。卒業後よりオルガン、チェンバロを始める。国内外の講習会やマスタークラス等で、オルガン、チェンバロ、即興演奏、通奏低音の研鑽を積む。白川・イタリアオルガン音楽アカデミーにて、ピストイア賞、白川賞、ゲラルデスキ賞を受賞。ピストイア(イタリア)オルガンアカデミーの招待により、2017年よりイタリアでコンサートを行う。
日本聖公会聖アンデレ教会オルガニスト。

<プログラム>

1. Num komm, der Heiden Heiland (F.W.Zachow)
いざ来ませ、異邦人の救い主よ (聖歌59番)
2. Birjina gaztettobat zegoen (N. Rawsthorne)
ガブリエルのメッセージ (聖歌66番)
3. Noël Ecosais (A. Guilmant)
4. Veni Emmanuel (N. Rawsthorne)
久しく待ちにし (聖歌64番)
5. Pastorale (C. Wesley)
パストラレー
6. 日本聖公会聖歌第527番「傷ついた人の祈りにこたえて」
～ Ye banks and braes (R. Bonighton)
7. Wachet auf (R. Bonighton)
目覚めよ、と呼ぶ声あり (聖歌58番)
8. Wachet auf, ruft una die Stimme (M.Reger)
目覚めよ、と呼ぶ声あり (聖歌58番)

<聖三一教会のオルガン>

このパイプオルガンは1979年に英国の北方、ダラム市にある「ハリソン&ハリソン」というオルガン工房で作られました。聖三一教会は英国教会と同じ教会グループに属しており、私たちの礼拝、またそこで用いる音楽も英国教会に由来するものが多いため、当時日本では稀であった英国製オルガンを導入しました。英国独特の柔らかい響きが特徴です。

パイプの数は全部で788本。礼拝を支えることを主な目的としているので、音楽ホールや大教会で見られるオルガンに比べ小規模ですが、この礼拝堂には十分の大きさです。

2段鍵盤と足鍵盤から成り、ストップ(音色)は1段目の鍵盤(下)に5種類、2段目の鍵盤(上)に4種類、足鍵盤に4種類あり、その他、それぞれを繋いで音の組み合わせを作ったり、音を大きくしたりする機能がついています。

2015年秋、設置以来初の解体修復作業を行い、本来の澄んだ音色と豊かな響きがよみがえりました。